

インサイドの紹介

7月10日付で松本貴美子さんが新入社員で入社しました。今後、皆様よりのお問合せ、ご注文などでお話しする機会が多くあると思います。ご指導ご鞭撻をお願い致します。



松本 貴美子



はじめまして、松本 貴美子 と申します。
暑い日が続く、ツライ人もいるでしょうが、夏大好きです。☀️
花火大会に行く予定もあり、楽しみがいっぱいなんです。
そろそろ日焼けを気にし、日傘をさしたほうが良い お年頃なんです。
が、(笑)、毎日自転車で通っているので日焼け肌に向かって走っているようなものでね……
あ!! 夏だから遊ぶすぎず、まずは仕事をがんばります!!

御社担当の一カ月



小島 和彦

皆さんこんにちは 小島です。一足先に息子2人は夏休み。早速高3の長男が友達を家に泊めてもいいかと聞いてきたので、安易に許可を出したのですが。当日来たのは男の友達1人と同じ学校だという女の子2人。うちに泊まることは自分の家にはちゃんと伝えていたことなので一先ず信じました。男女4人で換気扇のない息子の部屋で「カンカン」焼肉を食べ、翌日焼肉の匂いを残し帰ったようです。息子が言うには8月あと2回は泊まりに来るとのこと。次回からは6〜7人になるらしいです。部屋を追い出された次男は私とおなじベットで寝ています。

今月の目次

- ・ご挨拶 (千葉事業部長)
- ・テクニカルメッセージ 「グランドフートバルブ使用しているパッキンについて」
- ・今月の特集 「省エネ展示会IN愛知」
- ・イシザキからのお知らせ 「インサイドからのお知らせ」

◇今年の夏は熱帯並み!? ご自愛下さいますよう◇
夏本番、この便りが届く頃は夏休みも終盤、子供達も宿題や自由課題にてんてこ舞いかもかもしれませんね。それにしても今年の夏は暑い。ゲリラ豪雨もやっかいもの、体調管理と水難にはくれぐれもご注意下さい。
さて今月の特集は【陣内工業所様での展示会】です。多くの自動車関連企業様のご支持を頂き、大変盛況でした。今回はSGの「省エネ」をテーマにして、展示用デモ機も登場、見える化する事で原理と機能がご理解頂ける機会となりました。
～ありがとうございました!～



バルブ事業部長
千葉 和典

グランドフート®SG、あのわずらわしいフート弁工事は、もう不要です。是非、安心・安全なSGを「エスジー」の愛称で覚えて下さい。なお、ご予約案件へのご対応はお早めにお手配頂きますようお願い申し上げます。

< いつもご愛顧ありがとうございます >



SGのよくある問合せ!

ポリオレフィン発泡体・フッ素ゴム発泡体はどのような材料?

【グランドフートバルブSGシートパッキンの解説】

SGシートパッキンの材料はポリオレフィン発泡体で、自動車の内装や住宅・土木用のクッション材、バス・キッチン等水回りの水漏れ防止や、住宅における壁の隙間からの水の浸入防止といった様々な用途に採用されています。

用途からも推察できるように、特長としては ①高反発弾性 ②柔軟性 ③耐水性 ④形状復元性を兼ね備えた材料です。弊社で採用しているポリオレフィン発泡体は、独立気泡を有した架橋発泡体となっています。気泡の構造としては独立気泡(下図右)は気泡がそれぞれ独立して並んでおり、スポンジなどの構造と異なり、液体や気体の中を通ることができない構造です。グランドフートバルブSGは、封水性を保つことでポンプ停止時に落水せず、配管に水を保持するバルブです。

従って、グランドフートバルブSGにとって最適な材料と言えます。

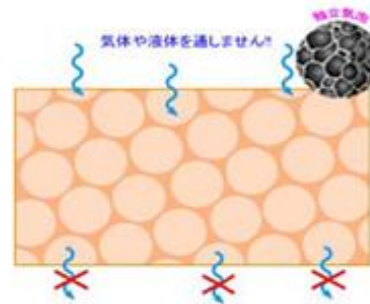
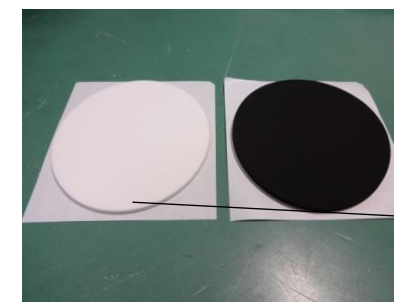


図2 独立気泡の構造



左側 ポリオレフィン発泡体
右側 フッ素ゴム発泡体



弁体弁棒

同様な独立気泡を有するフッ素ゴム発泡体というものがあり、グランドフートバルブSG温水仕様の材料として採用しております。空調の蓄熱槽や工場の洗浄排水などのラインにてご採用頂いています。水温が40度を超えるような現場がありましたらご活用下さい。

陣内工業所株式会社（愛知県）展示会に出展しました。

2014年5月28日(水)～30日(金)に陣内工業所(株)で展示会を行いました。
当日は、出展企業は30社強で来訪者は300数十名程いらっしゃいました。
自動車工場関係の方にご来場いただきました。
当日は厳しい暑さで、現場も熱気に包まれていました。



展示会入り口

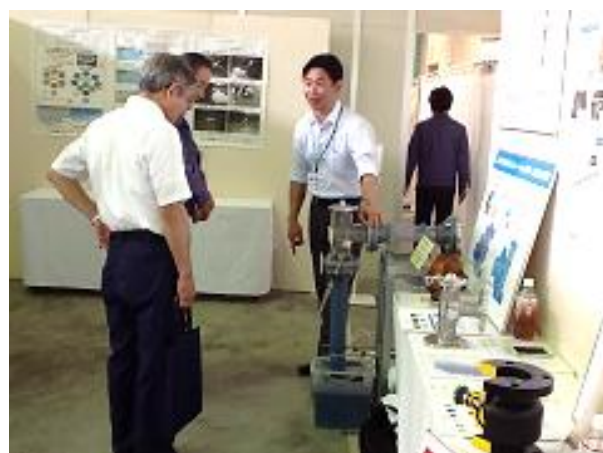


各出展ブースの様子

～展示会ブースの様子～



(株)イシザキ 展示の様子 ①



(株)イシザキ 展示の様子 ②
【写真右 弊社 石倉】

今回の展示会のテーマは『**省エネ**』です。

スモレンスキグランドフトバルブは、地上部に設置することができ、メンテナンスも地上で行う事ができます。従来の末端フト弁の場合、配管を引き上げてメンテナンスを行っていましたが、不要になります。その分の作業コストや時間を削減することができます。また、内部形状を最適化することで、圧力損失を末端フト弁同等以下にすることができました。

来場者の声

ブースでは、スモレンスキフトバルブの性能・効果を、実際に透明のグランドフトバルブを見て頂き、確認してもらいました。

【お客様の声】

- ①面白いね。動力の設備グループに提案をしたほうがいい。
(自動車関係工場)
- ②排水でよくフト弁がトラブル発生。固形物には強い？
(自動車関係工場)
- ③現場では水中ポンプをやめて、ポンプの陸上化を検討している。
理由としては、水中ポンプは劣化が早くメンテナンス費用がかかる。
それなら上でという話。陸上ポンプだとフト弁がネックだったのでこれで解消できる。見積もりもらえる？(自動車関係工場)
- ④フト弁スゲー困っている！これ上で楽だけど配管に穴が開いたらだめだね？塩ビ管にすればいいのか。なるほど。それはいい。検討します。(自動車関係工場)
- ⑤御社製品はどっかでみた！改善で使用して順調という情報が回ってきた気がする。ちなみに250Aで定価は？ユニック代や作業時間を考えれば検討する価値あり。
(自動車関係工場)
- ⑥フト弁を1年に一回交換している。次亜塩素で使える？(食品工場)



グランドフトバルブ
展示用(透明配管)



展示会から2ヶ月ほど経過していますが、具体的に計画しているケースも数件あります。
今回の展示会でも、実際に製品を見ることで設置した際のイメージができると、大変ご好評いただきました。
展示会ご関係者そしてご来場の皆様誠にありがとうございました。

『製品を見てみたい・検討しているが不安』等ございましたら、実際の製品を持参し伺ってご紹介できるケースもあります。各エリア営業担当に、気兼ねなくご連絡ご相談下さい。